

“国際”再考 — グローバルとローカルのあいだ —

◆ 日時：2019年 10月 1・8・15・29日・11月 12・19・26日
16時45分～18時15分（毎週火曜日 全7回）

◆ 会場：明治学院大学 横浜キャンパス 7号館 720 教室
JR戸塚駅東口/バスターミナル8番乗場江ノ電バス「明治学院大学南門」行乗車約12分、終点下車すぐ

◆ 講演 + ディスカッション
ディスカッションには、辻 信一（本学国際学部教授）、
高橋 源一郎（本学名誉教授）他が登壇予定

無料

申込
不要

近隣・構内駐車場
ありません
公共交通機関を
ご利用ください

| | | | |
|-----|-----------|---------------|-------------|
| 第1回 | 10月1日(火) | 森 まゆみ | 作家・市民運動家 |
| 第2回 | 10月8日(火) | 中島 岳志 | 東京工業大学教授 |
| 第3回 | 10月15日(火) | 田中 優子 | 法政大学総長 |
| 第4回 | 10月29日(火) | 國分 功一郎 | 東京工業大学教授 |
| 第5回 | 11月12日(火) | ヘレナ・ノーバーク=ホッジ | 環境・社会運動家 |
| 第6回 | 11月19日(火) | 山崎 亮 | コミュニティデザイナー |
| 第7回 | 11月26日(火) | 藤原 辰史 | 京都大学准教授 |



危機の淵に立つ世界は、好むと好まざるとに関わらず、グローバル化時代の終焉という大きな曲がり角にさしかかっている。来るべき「脱グローバル化」と「再ローカル化」に向けて、まずは、いつの間にかグローバル化し、均質化し、大地やコミュニティから遊離し、「トポス（場所性）」を見失って、根無し草となっている自分たち自身の頭と心と体を、再び着地させ、根付かせなければなるまい。そのためにも、もう一度、国や社会の「際（きわ）」に注目し、文化と文化、地域と地域との「あいだ」から世界を見つめる態度を取り戻さなければならない。

国際学部附属研究所 所長 辻 信一（大岩 圭之助）



森 まゆみ もり・まゆみ

作家、エッセイスト、編集者、市民運動家

地域雑誌「谷中・根津・千駄木」(通称「谷根千」)を発行、その編集を続けながら、大都市における草の根コミュニティ運動を推進、地域文化の保全、再生のための市民活動に従事する一方で、数々の著作を発表してきた。著書に、『「青鞥」の冒険』『「谷根千」の冒険』(ちくま文庫)、『お隣のイスラーム—日本に暮らすムスリムに会いに行く』(紀伊國屋書店)、『子規の音』(新潮社)、『暗い時代の人々』(亜紀書房)、『楽しい縮小社会—小さな日本』(ちくま文庫)など多数。

中島 岳志 なかじま・たけし

政治学者、東京工業大学教授

専門は南アジア地域研究、近代日本思想史。著書に、『中村屋のボース—インド独立運動と近代日本のアジア主義』(白水社)、『ナショナリズムと宗教—現代インドのヒンドゥー・ナショナリズム運動』(文春ライブラリー)、『保守と大東亜戦争』(集英社新書)、『保守と立憲—世界によって私が変わらないために』(スタンド・ブックス)、『「リベラル保守」宣言』(新潮文庫)、『超国家主義』(筑摩書房)など多数。

田中 優子 たなか・ゆうこ

江戸文化研究者、法政大学総長

専門は江戸時代の文学・生活文化、アジア比較文化。著書に、『江戸の想像力』(ちくま学芸文庫)、『そろそろ「社会運動」の話しよう』(編集、明石書店)、『日本問答』(共著、岩波新書)、『グローバルゼーションの中の江戸』(岩波ジュニア新書)、『カムイ伝講義』(ちくま文庫)、『江戸はネットワーク』(平凡社ライブラリー)、『未来のための江戸学』など多数。

國分 功一郎 こくぶん・こういちろう

哲学者、東京工業大学教授

専門は西洋哲学 / 哲学原論・各論。著書に『暇と退屈の倫理学』(太田出版)、『中動態の世界—意志と責任の考古学』(医学書院)、『僕らの社会主義』(山崎亮との共著、ちくま新書)、『民主主義を直感するために』(晶文社)、『近代政治哲学—自然・主権・行政』(ちくま新書)、『来るべき民主主義—小平市都道328号線と近代政治哲学の諸問題』(幻冬舎新書)など多数。

ヘレナ・ノーバーク=ホッジ

社会運動家、シューマツハーカレッジ講師

「ローカル・フューチャーズ」国際運動の創設者、代表。インド・ラダック地方での長年の研究を土台に、グローバル経済が引き起こす危機に警鐘を鳴らし、ローカリゼーションへの転換を説く世界的なオピニオンリーダー。1986年、もう一つのノーベル賞と呼ばれるライト・ライブリッド賞を受賞。著書に『懐かしい未来 ラダックから学ぶ』(懐かしい未来の本)、『ローカル・フューチャー』(ゆっくり堂)、『いよいよローカルの時代』(辻信一との共著、大月書店)、DVD『幸せの経済学』(ユナイテッド・ピープル)など。

山崎 亮 やまざき・りょう

studio-L代表、コミュニティデザイナー
社会福祉士

地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。著書に『ケアするまちのデザイン—対話で探る超長寿時代のまちづくり』(医学書院)、『地域ごはん日記』(パイインターナショナル)、『僕らの社会主義』(國分功一郎との共著、ちくま新書)、『縮小する日本—「参加」が創り出す人口減少社会の希望』(PHP 新書)、『コミュニティデザインの源流 イギリス篇』(太田出版)など多数。

藤原 辰史 ふじはら・たつし

農業史研究者、京都大学准教授

専門は農業史、食と農の思想、ドイツ現代史。著書に『分解の哲学—腐敗と発酵をめぐる思考』(青土社)、『食べるとはどういうことか—世界の見方が変わる三つの質問』(農山漁村文化協会)、『給食の歴史』(岩波新書)、『トラクターの世界史—人類の歴史を変えた「鉄の馬」たち』(中公新書)、『戦争と農業』(集英社インターナショナル新書)、『決定版 ナチスのキッチン—「食べること」の環境史』(共和国)など多数。

辻 信一 (大岩圭之助) つじ・しんいち

文化人類学者、環境文化運動家、本学教授

国際学部付属研究所所長。NGO「ナマケモノ倶楽部」代表。著書に『スロー・イズ・ビューティフル』(平凡社ライブラリー)、『弱さの思想』、『「雑」の思想』(共に高橋源一郎との共著、大月書店)、『降りる思想』(田中優子との共著、大月書店)、『よきことはカタツムリのように』(春秋社)など多数。映像作品にDVDブックシリーズ「アジアの叢智」(現在8巻、SOKEI パブリッシング)など。

高橋 源一郎 たかはし・げんいちろう

作家、評論家、本学名誉教授

著書に『間違いだらけの文章教室』(朝日文庫)、『今夜はひとりぼっちかい? 日本文学盛衰史 戦後文学篇』(講談社)、『憲法が変わるかもしれない社会』(編著、文藝春秋)、『支配の構造 国家とメディア—「世論」はいかに操られるか』(中島岳志他との共著、SB 新書)など多数。月刊『新潮』に小説「ヒロヒト」を連載中。NHKラジオ第1「すっぴん!」金曜パーソナリティを務める。

国際学部付属研究所

【交通アクセス】

最寄駅 戸塚駅 [JR 東海道線・横須賀線・湘南新宿ライン]
[横浜市営地下鉄ブルーライン]

戸塚駅東口バスターミナル8番乗り場より、
江ノ電バス「明治学院大学南門」行き乗車、
「明治学院大学南門」下車すぐ(乗車約12分)

公開するシンポジウム・セミナー・公開講座の開催は、
<当研究所ホームページ>

<http://www.meijigakuin.ac.jp/~iism/>

で、随時お知らせしています。

刊行した『国際学研究』『研究所年報』は、
<本学図書館機関リポジトリ>

<http://repository.meijigakuin.ac.jp/>

「国際学部」からご覧いただけます。